

## 第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画における指標について

## 1 現状

## (1) 12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率

区分	平成30年度					令和元年度				
	受歯 検科 者健 数診	受診 勧告 者数		受医 診療 者機 数関		受歯 検科 者健 数診	受診 勧告 者数		受医 診療 者機 数関	
	a	b	b/a	c	c/b	a	b	b/a	c	c/b
1学年	18,185	7,157	39.4%	2,553	35.7%	18,137	6,474	35.7%	2,549	39.4%
2学年	18,778	7,337	39.1%	2,152	29.3%	18,541	7,069	38.1%	2,290	32.4%
3学年	18,666	7,467	40.0%	1,984	26.6%	19,055	7,372	38.7%	2,261	30.7%
中学校計	55,629	21,961	39.5%	6,689	30.5%	55,733	20,915	37.5%	7,100	33.9%

資料：宮城県児童・生徒の健康課題統計調査・平成30年度宮城県児童生徒の健康実態調査

- ・受診勧告者数は、平成30年度と比較すると減少している。
- ・受診勧告者の医療機関受診率は、平成30年度と比較すると3.7ポイント増加している。

## (2) 昼食後の歯みがき実施率

学校種別	平成30年度						令和元年度					
	実施している		実施していない		無回答	計	実施している		実施していない		無回答	計
	a	a/c	b	b/c			a	a/c	b	b/c		
小学校	266	71.7%	98	26.4%	7	371	274	74.3%	95	25.7%	—	369
中学校	106	50.7%	103	49.3%	0	209	110	55.8%	86	43.7%	1	197
中等教育学校	—	—	—	—	—	—	0	0.0%	2	100.0%	—	2
高等学校	11	14.3%	61	79.2%	5	77	13	19.4%	54	80.6%	—	67
支援学校	21	95.5%	1	4.5%	0	22	25	96.2%	1	3.8%	—	26
計	404	59.5%	263	38.7%	12	679	422	63.8%	238	36.0%	1	661

資料：宮城県児童・生徒の健康課題統計調査・平成30年度宮城県児童生徒の健康実態調査

- ・学校種別で見ると、令和元年度の歯みがき実施率は小学校で74.3%に対し、中学校では55.8%となっており、小学校と比較して実施割合が低い。
- ・すべての学校種での昼食後の歯みがき実施率は、平成30年度と比較して4.3ポイント増加している。

## 2 現状値及び目標値の設定について

達成指標	第2期現状値	最新値	目標値 (案)	目標値設定の考え方
12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率 宮城県児童生徒の健康課題統計調査（宮城県教育委員会）	35.7% (H30)	<b>39.4%</b> (R1)	<b>60%</b>	直近の伸び率と残りの計画期間を踏まえたもの。
学校における昼食後の歯みがきの実施率 宮城県児童生徒の健康課題統計調査（宮城県教育委員会）	59.5% (H30)	<b>63.8%</b> (R1)	<b>78%</b>	直近の伸び率と残りの計画期間を踏まえたもの。

## 3 今後の取組

- (1) 目標値達成に向けた取組につながるよう、毎年度実施している「宮城県児童・生徒の健康課題統計調査」の調査結果を分析し、その結果の要因把握に努める。
- (2) 養護教諭や保健主事を対象とした「学童期・思春期の口腔ケア支援者研修会」において、受診への関心が低い保護者へのアプローチ方法や学校での歯みがきの重要性などについての理解を深め、各学校の歯科保健への意識向上を図る。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する文部科学省や厚生労働省等からの最新情報を収集し、学校での歯みがき実施における注意事項など、市町村教育委員会等へ必要な情報提供を図る。